## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2002-281545

(43)Date of publication of application: 27.09.2002

(51)Int.Cl.

H04Q H04J 3/16 H04J 13/00

H04L 12/56

(21)Application number: 2001-079207

(71)Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing:

19.03.2001

(72)Inventor: UESUGI MITSURU

HIRAMATSU KATSUHIKO

MIYA KAZUYUKI

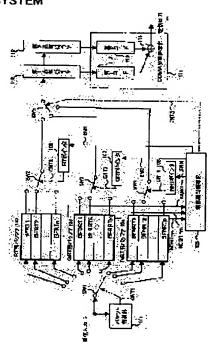
KATO OSAMU

(54) COMMUNICATION EQUIPMENT, COMMUNICATION METHOD, COMMUNICATION PROGRAM, RECORDING MEDIUM, MOBILE STATION, BASE STATION AND COMMUNICATION SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide communication equipment, communication method, communication program, recording medium, mobile station, base station and communication system, with which a communication quality is guaranteed.

SOLUTION: The packets of different communication qualities are stored corresponding to the vacant states of respective buffers in buffer groups while being distributed to three buffer groups for read time RT, pseudo real time QRT and non-real time NRT for each of communication qualities on the basis of additional information added to the packets by a packet discriminating part 101, the presence/absence of stored packets is confirmed by circulating three buffer groups for each time slot by a boundary assignment control part 105 and concerning a buffer group having stored packets, the stored packets are successively taken out by circulating the respective buffers. Then, the codes of the packets extracted by the boundary assignment control part 105 are multiplexed for each time slot by a CDMA multiple processing part 111 and transmitting output ot is provided.



### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

13.03.2002

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3349698

[Date of registration]

13.09.2002

[Number of appeal against examiner's decision of

rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of

rejection]

[Date of extinction of right]

#### (19)日本国特許庁(JP)

## (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2002-281545 (P2002-281545A)

(43)公開日 平成14年9月27日(2002.9.27)

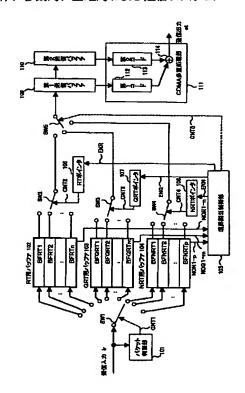
| (51) Int.Cl. <sup>7</sup> | 識別記号                      | FI             | デーマコート*( <del>参考</del> ) |  |  |  |
|---------------------------|---------------------------|----------------|--------------------------|--|--|--|
|                           |                           | H 0 4 J 3/16   | Z 5K022                  |  |  |  |
| -                         |                           |                |                          |  |  |  |
| H04J 3/16                 |                           | H 0 4 L 12/56  | 200E 5K028               |  |  |  |
| 13/00                     |                           |                | 230B 5K030               |  |  |  |
| H04L 12/56                | 200                       | H 0 4 B 7/26   | _105D 5K067              |  |  |  |
|                           | 2 3 0                     | H 0 4 J 13/00  | Α                        |  |  |  |
|                           |                           | 審査請求 有         | 請求項の数25 OL (全 30 頁)      |  |  |  |
| (21)出願番号                  | 特顧2001-79207(P2001-79207) | (71)出顧人 000005 | (71) 出願人 000005821       |  |  |  |
|                           |                           | 松下電            | 器産業株式会社                  |  |  |  |
| (22)出願日                   | 平成13年3月19日(2001.3.19)     | 大阪府            | 門真市大字門真1006番地            |  |  |  |
|                           |                           | (72)発明者 上杉     |                          |  |  |  |
|                           |                           |                | 元<br>県横浜市港北区網島東四丁目3番1    |  |  |  |
|                           |                           |                | 下通信工業株式会社内               |  |  |  |
|                           |                           |                |                          |  |  |  |
|                           |                           | (72)発明者 平松     |                          |  |  |  |
|                           |                           |                | 県横浜市港北区綱島東四丁目3番1         |  |  |  |
|                           |                           |                | 下通信工業株式会社内               |  |  |  |
|                           |                           | (74)代理人 100105 | 647                      |  |  |  |
|                           |                           | 弁理士            | 小栗 昌平 (外4名)              |  |  |  |
|                           |                           |                |                          |  |  |  |
|                           |                           |                | 最終頁に続く                   |  |  |  |

#### (54) 【発明の名称】 通信装置、通信方法、通信プログラム、記録媒体、移動局、基地局および通信システム

#### (57)【要約】

【課題】 通信品質を保証した通信装置、通信方法、通信プログラム、記録媒体、移動局、基地局および通信システムを提供することを目的とする。

【解決手段】 パケット判別部101により、通信品質の異なるパケットを該パケットに付加されている付加情報に基づき、通信品質毎にリアルタイムRT用、擬似リアルタイムQRT用および非リアルタイムNRT用の3個のバッファ群に振り分けて、該バッファ群内の各バッファの空き状態に応じて格納し、境界割当制御部105により、タイムスロット毎に3個のバッファ群を循環して貯蓄パケットの有無を確認し、貯蓄パケットを持つバッファ群について各バッファを循環して貯蓄パケットを順次取り出し、タイムスロット毎に境界割当制御部105により取り出されたパケットのコードをCDMA多重処理部111により多重化して送信出力otを得る。



1

#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信品質の異なる信号を通信品質毎に振り分ける判別手段と、

前記通信品質毎に振り分けられた信号を異なる時間に割り当てる境界割当制御手段と、

前記境界割当制御手段により割り当てられた時間毎に信号をコード多重化するコード多重化処理手段と、を有することを特徴とする通信装置。

【請求項2】 通信品質毎にグループ分けされた複数の バッファ群と、

通信品質の異なるパケットを該パケットに付加されている付加情報に基づき前記複数のバッファ群に振り分ける 判別手段と、

前記複数のバッファ群に貯蓄されたパケットをバッファ 群毎に異なる時間に割り当てて取り出す境界割当制御手 段と、

異なる時間毎に前記境界割当制御手段により取り出されたパケットをコード多重化するコード多重化処理手段と、を有することを特徴とする通信装置。

【請求項3】 通信品質毎に第1から第K(Kは2以上 20 の整数)までのK個にグループ分けされたK個のバッファ群と、

通信品質の異なるパケットを該パケットに付加されている付加情報に基づき前記K個のバッファ群に振り分け、 該バッファ群内の各バッファの空き状態に応じて格納する判別手段と、

所定単位時間毎に前記K個のバッファ群を循環して貯蓄パケットの有無を確認し、貯蓄パケットを持つバッファ群について各バッファを循環して貯蓄パケットを順次取り出す境界割当制御手段と、

前記単位時間毎に前記境界割当制御手段により取り出されたパケットをコード多重化するコード多重化処理手段と、

を有することを特徴とする通信装置。

【請求項4】 前記境界割当制御手段は、前記信号または前記パケットを前記異なる時間または前記単位時間に割り当てる際に、通信品質毎の時間幅または単位時間数を時変設定することを特徴とする請求項1、2または3に記載の通信装置。

【請求項5】 前記境界割当制御手段は、前記信号または前記パケットの前記異なる時間または前記単位時間への割当を、前記信号または前記パケットの通信品質に基づく優先度に従って行うことを特徴とする請求項1、

2、3または4に記載の通信装置。

【請求項6】 前記通信品質は、データ伝送における遅延の許容度またはゆらぎを表す遅延品質であることを特徴とする請求項1、2、3、4または5に記載の通信装置。

【請求項7】 前記遅延品質は、前記遅延許容度が第1 許容度以下のリアルタイム、前記遅延許容度が第2許容 度以上の非リアルタイム、または前記第1許容度から前 記第2許容度までの範囲の擬似リアルタイムであること を特徴とする請求項6に記載の通信装置。

【請求項8】 前記遅延品質は、前記遅延ゆらぎが第1 ゆらぎしきい値以下のリアルタイム、前記遅延許容度が第2 ゆらぎしきい値以上の非リアルタイム、または前記第1 ゆらぎしきい値から前記第2 ゆらぎしきい値までの範囲の擬似リアルタイムであることを特徴とする請求項6 に記載の通信装置。

10 【請求項9】 前記境界割当制御手段は、前記信号または前記パケットの前記異なる時間または前記単位時間への割当を、前記リアルタイム、前記擬似リアルタイム、前記非リアルタイムの順に行うことを特徴とする請求項7または8に記載の通信装置。

【請求項10】 他局との呼の接続を制御する呼接続制御手段を有し、

前記境界割当制御手段は、前記信号または前記パケットの前記異なる時間または前記単位時間への割当を一定時間間隔で行う際に、前記呼接続制御手段によって張られた呼の接続数に基づき、一定時間間隔の最初に最上位優先度の通信品質用に所定時間幅または所定単位時間数を設定することを特徴とする請求項1、2、3、4、5、6、7、8または9に記載の通信装置。

【請求項11-】 通信品質の異なる信号を通信品質毎に 振り分ける判別ステップと、

前記通信品質毎に振り分けられた信号を異なる時間に割り当てる境界割当制御ステップと、

前記境界割当制御ステップにより割り当てられた時間毎 に信号をコード多重化するコード多重化処理ステップ と、を有することを特徴とする通信方法。

【請求項12】 通信品質毎にグループ分けされた複数のバッファ群を備えた通信装置の通信方法であって、通信品質の異なるパケットを該パケットに付加されている付加情報に基づき前記複数のバッファ群に振り分ける判別ステップと、

前記複数のバッファ群に貯蓄されたパケットをバッファ 群毎に異なる時間に割り当てて取り出す境界割当制御ス テップと

異なる時間毎に前記境界割当制御ステップにより取り出 の されたパケットをコード多重化するコード多重化処理ステップと、を有することを特徴とする通信方法。

【請求項13】 通信品質毎に第1から第K(Kは2以上の整数)までのK個にグループ分けされたK個のバッファ群を備えた通信装置の通信方法であって、

通信品質の異なるパケットを該パケットに付加されている付加情報に基づき前記K個のバッファ群に振り分け、 該バッファ群内の各バッファの空き状態に応じて格納する判別ステップと、

所定単位時間毎に前記K個のバッファ群を循環して貯蓄 50 パケットの有無を確認し、貯蓄パケットを持つバッファ

2

群について各バッファを循環して貯蓄パケットを順次取 り出す境界割当制御ステップと、

前記単位時間毎に前記境界割当制御ステップにより取り 出されたパケットをコード多重化するコード多重化処理 ステップと、を有することを特徴とする通信方法。

【請求項14】 前記境界割当制御ステップは、前記信号または前記パケットを前記異なる時間または前記単位時間に割り当てる際に、通信品質毎の時間幅または単位時間数を時変設定することを特徴とする請求項11、12または13に記載の通信方法。

【請求項15】 前記境界割当制御ステップは、前記信号または前記パケットの前記異なる時間または前記単位時間への割当を、前記信号または前記パケットの通信品質に基づく優先度に従って行うことを特徴とする請求項11、12、13または14に記載の通信方法。

【請求項16】 前記通信品質は、データ伝送における 遅延の許容度またはゆらぎを表す遅延品質であることを 特徴とする請求項11、12、13、14または15に 記載の通信方法。

【請求項17】 前記遅延品質は、前記遅延許容度が第1許容度以下のリアルタイム、前記遅延許容度が第2許容度以上の非リアルタイム、または前記第1許容度から前記第2許容度までの範囲の擬似リアルタイムであることを特徴とする請求項16に記載の通信方法。

【請求項18】 前記遅延品質は、前記遅延ゆらぎが第1ゆらぎしきい値以下のリアルタイム、前記遅延許容度が第2ゆらぎしきい値以上の非リアルタイム、または前記第1ゆらぎしきい値から前記第2ゆらぎしきい値までの範囲の擬似リアルタイムであることを特徴とする請求項16に記載の通信方法。

【請求項19】 前記境界割当制御ステップは、前記信号または前記パケットの前記異なる時間または前記単位時間への割当を、前記リアルタイム、前記擬似リアルタイム、前記非リアルタイムの順に行うことを特徴とする請求項17または18に記載の通信方法。

【請求項20】 他局との呼の接続を制御する呼接続制御ステップを有し、

前記境界割当制御ステップは、前記信号または前記パケットの前記異なる時間または前記単位時間への割当を一定時間間隔で行う際に、前記呼接続制御ステップによって張られた呼の接続数に基づき、一定時間間隔の最初に最上位優先度の通信品質用に所定時間幅または所定単位時間数を設定することを特徴とする請求項11、12、13、14、15、16、17、18または19に記載の通信方法。

【請求項21】 請求項11、12、13、14、1 5、16、17、18、19または20に記載の通信方 法をコンピュータに実行させるための通信プログラム。

【請求項22】 請求項11、12、13、14、1 5、16、17、18、19または20に記載の通信方 50

法をコンピュータに実行させるためのプログラムとして 記録したコンピュータにより読み取り可能な記録媒体。

4

【請求項23】 請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9 または1 0 に記載の通信装置、請求項2 1 に記載の通信プログラム、或いは、請求項2 2 に記載の記録媒体を備えたことを特徴とする移動局。

【請求項24】 請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9または10に記載の通信装置、請求項21に記載の通信プログラム、或いは、請求項22に記載の記録媒体を備えたことを特徴とする基地局。

【請求項25】 請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9または10に記載の通信装置、請求項21に記載の通信プログラム、或いは、請求項22に記載の記録媒体を備えたことを特徴とする通信システム。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、通信装置、通信方法、該通信方法を実行させるためのプログラム、該プログラムを記録した記録媒体、移動局、基地局および通信システムに係り、特に、CDMA(Code Division Multiple Access)方式を用いたパケット通信等において、上り信号または下り信号の信号割当を通信品質を考慮して行うことにより、通信品質を保証した通信装置、通信方法、通信プログラム、記録媒体、移動局、基地局および通信システムに関する。

[0002]

【従来の技術】従来のCDMA方式を用いたパケット通信において行われている上り信号または下り信号の信号割当について、図13乃至図19を参照して説明する。
30 図13は従来の従来の通信装置(基地局)において下り信号の信号割当を行う部分の構成図であり、図14は従来の通信方法(下り信号の信号割当方法)の概略を説明する説明図であり、図15は具体的な受信入力(パケット入力群)に対してどのような送信出力が得られるかを示したタイムチャートであり、図16、図17、図18 および図19は、それぞれ第1フレーム出力期間(タイムスロットT11~T18)、第2フレーム出力期間

(タイムスロットT21~T28)、第3フレーム出力 期間(タイムスロットT21~T28) および第4フレ 40 一ム出力期間(タイムスロットT41~T48) におけ る各パッファBFRT1~BFRT6, BFQRT1~ BFQRT4, BFNRT1~BFNRT4のパケット の貯蓄状態を説明する説明図である。

【0003】先ず、図13を参照して、従来の通信装置における信号割当を行う部分の構成について説明する。同図において、パケット判別部101、パッファBFRT1~BFRT6,BFQRT1~BFQRT4,BFNRT1~BFNRT4、割当制御部905、第1送信パッファ109、第2送信パッファ110、CDMA多重処理部111およびスイッチSW6,SW7を備えて

構成されている。

【0004】パケット判別部101は、受信入力irのパケットをパッファBFRT1~BFRT6,BFQRT1~BFNRT4の空き状態に応じて所定パッファに振り分ける。具体的には、制御信号CNT6によりスイッチSW6を切り換えて所定パッファへの経路を確立する。

【0005】なお、本従来例においても、パケット判別部101によりパケットに付加されている付加情報(ヘッダ)に基づき遅延品質(リアルタイムRT、擬似リアルタイムQRT、非リアルタイムNRT)を判別し、判別結果に応じてそれぞれRT用バッファ群BFRT1~BFRT6、QRT用バッファ群BFQRT1~BFQRT4、NRT用バッファ群BFNRT1~BFNRT4に振り分けているが、これは後述する本発明の実施形態と対比させるためにしているもので、従来の信号割当方法を適用する場合には、このような振り分けが有っても無くても本質的な違いは無い。

【0006】また、ここで、本従来例の基地局が含まれる通信システムが提供するサービスとして、音声による通話、インターネットアクセス、電子メールの送受信等があり、遅延品質としてリアルタイムRTの通信には音声等の遅延許容値が小さいデータの通信が該当し、擬似リアルタイムQRTの通信にはインターネット応答等のように比較的高速な応答性が要求されるデータの通信が該当し、非リアルタイムNRTの通信には電子メール等のように遅延許容値が相対的に大きいデータの通信が該当する。

【0007】次に、割当制御部905は、バッファBFRT1~BFRT6,BFQRT1~BFQRT4,BFNRT1~BFNRT4からの状態情報NOR1~NOR6,NOQ1~NOQ4,NON1~NON4により、各バッファの貯蓄パケットの有無を確認しつつ、図14に示すように、各バッファをBFRT1→FBRT2→…→BFRT6→BFQRT1→…→BFQRT4→BFNRT1→…のように循環して、貯蓄パケットを順次取り出していく。つまり、どのバッファにも公平に参照機会が割り当てられるラウンドロビン(Round Robin)手法が用いられている。具体的には、制御信号CNT7によりスイッチSW7を切り換えて第1送信バッファ109への経路を確立する。

【0008】また、第1送信バッファ109および第2送信バッファ110は、CDMAにおける多重コード数を2としているために2個用意された送信バッファであり、それぞれの出力は、CDMA多重処理部111内の第1コード112および第2コード113となって拡散され、加算器114により多重化され、送信出力otを得る。

【0009】次に、図15乃至図19を参照して、従来 50 たタイムスロットT12では、ラウンドロビンによりQ

の通信装置における通信方法、即ち、具体的な受信入力 (パケット入力群)に対してどのような送信出力が得られるかについて、各バッファBFRT1~BFRT6,BFQRT1~BFQRT4,BFNRT1~BFNR T4のパケットの貯蓄状態の推移を踏まえながら説明する。本具体例では、送信出力otは、コード数=2で1フレーム8スロットとして説明する。また、時間軸は、図15(b)に示すように、出力フレームの各タイムスロット、即ち、出力前期間のタイムスロットT11~T18、第2フレーム出力期間のタイムスロットT21~T28、第3フレーム出力期間のタイムスロットT31~T38および第4フレーム出力期間のタイムスロットT3

トT41~T48を用いて説明を行う。

6

【0010】図15(a)は、各タイムスロットにおけ る受信入力irのパケット群を示している。各パケット には名称が付されており、例えば、「AQ11, AQ1 2」は入力A群の1個のNRT (擬似リアルタイム)パ ケットであり、該パケットの要素がAQ11およびAQ 12であることを示している。同図から分るように、R T (リアルタイム) パケットは音声データであるので1 個の要素を持つ短パケットしか無く、しかも8タイムス ロット毎に1個の等間隔で受信される。これに対して、 インターネットアクセスの応答データ等のQRT(擬似 リアルタイム)パケットは、1個、2個または4個の要 素を持つ大きさのまちまちなパケットが不等間隔で受信 される。さらに、電子メールデータ等のNRT(非リア ルタイム) パケットについても、1個, 2個, 4個また は6個の要素を持つ大きさがまちまちなパケットが不等 間隔で受信される。

【0011】図15(c)は、第1フレームから第4フレームまでの各タイムスロットにおける第1送信パッファ109および第2パッファ110の内容、即ち多重化される第1コード113および第2コードの内容を示している。

【0012】図16では、第1フレーム出力期間(タイムスロットT11~T18)および出力前期間のタイムスロットT08における各パッファの貯蓄パケットの推移を示している。ラウンドロビン手法によるパッファの参照はRT用パッファBFRT1から始まり、タイムスロットT08では、RT用パッファBFRT1からRTパケットAR11が、RT用パッファBFRT2からRTパケットAR21が順次出力されて、タイムスロットT11にこれらが多重化されて送信出力されることになる

【0013】以下同様にバッファ出力のみに注目する と、タイムスロットT11では、RT用バッファBFR T3からRTパケットAR31が、RT用バッファBF RT4からRTパケットAR41が順次出力される。ま たタイムスロットT12では、ラウンドロピンによりQ

RT用パッファBFQRT2に辿り着き、該バッファか らQRTパケットAQ11, AQ12が順次出力され、 次に、タイムスロットT13では、QRT用パッファB FQRT3からQRTパケットAQ21が、NRT用パ ッファBFNRT1からNRTパケットAN21が順次 出力される。またタイムスロットT14ではNRT用バ ッファBFNRT1、BFNRT2からNRTパケット AN22, AN11が、タイムスロットT15ではNR T用バッファBFNRT3からNRTパケットAN3 1, AN32が、タイムスロットT16ではNRT用バ ッファBFNRT3からNRTパケットAN33、AN 34が、順次出力される。さらに、タイムスロットT1 7ではラウンドロビンによりRT用パッファBFRT1 に戻り、RT用パッファBFRT1, BFRT2からR TパケットBR11, BR21が、タイムスロットT1 8では、RT用パッファBFRT3, BFRT4からR TパケットBR31、BR41が、順次出力される。

【0014】図17においても同様に(簡単のために名 称を省略して)、T21ではBFQRT1からBQ1 1, BQ12が、T22ではBFQRT2, BFQRT 4からBQ21、BQ41が、T23ではBFQRT4 からBQ42, BQ43が、T24ではBFQRT4, BFNRT1からBQ44、BN41が、T25ではB FNRT1, BFNRT2からBN42, BN21が、 -T26ではBFNRT3からCN11、CN12が、T 27 TtdBFNRT3 からCN13, CN14が、T2 8ではBFNRT4からCN21, CN22が、順次出 力される。

【0015】また、図18においても同様に、T31で はBFNRT4からCN23, CN24が、T32では BFRT1, BFRT2からCR11, CR21が、T 33 TtdBFRT3, BFRT4 h SCR31, CR4 1が、T34ではBFQRT1、BFNRT1からBQ 31, BN11が、T35ではBFNRT1, BFNR T2からBN12. DN11が、T36ではBFNRT 3からDN31, DN32が、T37ではBFNRT3 からDN33, DN34が、T38ではBFNRT3か らDN35, DN36が、順次出力される。

【0016】さらに、図19においても同様に、T41 ではBFNRT4からDN71, DN72が、T42で 40 はBFNRT4からDN73, DN74が、T43では BFNRT4からDN75、DN76が、T44ではB FRT1、BFRT2からDR21、CR41が、T4 5ではBFRT3, BFRT4からDR51, CR61 が、T46ではBFRT5, BFRT6からDR11, CR31が、T47ではBFNRT1からDN21, D N22が、T48ではBFNRT2からDN51, DN 52が、順次出力される。

[0017]

来の通信装置および通信方法にあっては、音声データ等 のRT(リアルタイム)パケット、インターネットアク セスの応答データ等のQRT(擬似リアルタイム)パケ ット、または電子メールデータ等のNRT(非リアルタ イム)パケットの何れの遅延品質のパケットについて も、ラウンドロビン手法により公平に割り当てられるた め、大きなNRTパケットが有る場合には遅延許容値の 小さいRTパケットに遅延が生じてしまう。上述の具体 例(図15参照)においても、第4フレームのタイムス ロットT43~T46では、次のRTパケットER11 ~ER31が来ても未だにRTパケットDR11~DR 31が送出されていないという状態が発生している。

8

【0018】また、上述のように、パケットには様々な 種類が存在して、それぞれ遅延品質等の通信品質(Qo S; Quality Of Service) が異なる。その中でも音声デ ータ等は、特に遅延時間の制約が大きい。また音声パケ ットは、最終的には等間隔で復号されなくてはならない ので、遅延ゆらぎ(遅延ジッタ)があると次のような問 題が生じる。すなわち、音声パケットの復号遅延は最大 遅延時間に支配されてしまい、遅延ジッタを吸収するた めに(復号を行う側に)バッファが必要となり、遅延ジ ッタが大きいほど大きな容量のバッファが必要となる。 例えば、音声パケットの遅延が1 [ms], 5 [m s], 3 [ms], 8 [ms], 2 [ms], …となる ような回線においては、音声は最大遅延時間の8 [m s] で復号されることになり、この遅延ジッタを吸収す るためには、8-1=7 [ms] 分を補償する大きさの バッファが必要となる。

【0019】上記従来の通信装置および通信方法にあっ ては、具体例(図15参照)においても、RTパケット の送出間隔にばらつきが生じており、RTパケットの遅 延ジッタが存在し、また、大きなNRTパケットが有る 場合にはRTパケットの遅延ジッタがさらに大きくなる ことは明白である。このような遅延時間の制約が大きい RTパケットについては、他の遅延品質のパケット(Q RTパケット、NRTパケット)より優先させ、RTパ ケットが生じる度に該RTパケットに信号割当を行うと いう手法も考えられるが、この割当制御を瞬時に行うこ とは困難であった。

【0020】つまり、従来の通信装置および通信方法に あっては、様々な要求品質の信号を全ての要求を満たす ように割り当てることは困難であり、またCDMA方式 では、異なる通信品質(QoS)の信号を同時に多重す ると、所要品質の差によって送信パワーが大きく異な り、特にマルチパス環境等では、小さいパワーの信号の 品質を保持することが困難である。

【0021】本発明は、上記従来の事情に鑑みてなされ たものであって、CDMAを用いたパケット通信等にお いて、上り信号または下り信号の信号割当を通信品質を 【発明が解決しようとする課題】以上のように、上記従 50 考慮して行うことにより、遅延品質等の通信品質を保証

した通信装置、通信方法、通信プログラム、記録媒体、 移動局、基地局および通信システムを提供することを目 的としている。

#### [0022]

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明の請求項1に係る通信装置は、通信品質の異なる信号を通信品質毎に振り分ける判別手段と、前記通信品質毎に振り分けられた信号を異なる時間に割り当てる境界割当制御手段と、前記境界割当制御手段により割り当てられた時間毎に信号をコード多重化するコード多重化処理手段とを具備するものである。

【0023】また、本発明の請求項2に係る通信装置は、通信品質毎にグループ分けされた複数のバッファ群と、通信品質の異なるパケットを該パケットに付加されている付加情報に基づき前記複数のバッファ群に振り分ける判別手段と、前記複数のバッファ群に貯蓄されたパケットをバッファ群毎に異なる時間に割り当てて取り出す境界割当制御手段と、異なる時間毎に前記境界割当制御手段により取り出されたパケットをコード多重化処理手段とを具備するものである。

【0024】また、本発明の請求項3に係る通信装置は、通信品質毎に第1から第K(Kは2以上の整数)までのK個にグループ分けされたK個のバッファ群と、通信品質の異なるパケットを該パケットに付加されている付加情報に基づき前記K個のバッファ群に振り分け、該バッファ群内の各バッファの空き状態に応じて格納する判別手段と、所定単位時間毎に前記K個のバッファ群を循環して貯蓄パケットの有無を確認し、貯蓄パケットを持つバッファ群について各バッファを循環して貯蓄パケットを順次取り出す境界割当制御手段と、前記単位時間毎に前記境界割当制御手段と、前記単位時間毎に前記境界割当制御手段により取り出されたパケットをコード多重化するコード多重化処理手段とを具備するものである。

【0025】また、請求項4に係る通信装置は、請求項1、2または3に記載の通信装置において、前記境界割当制御手段は、前記信号または前記パケットを前記異なる時間または前記単位時間に割り当てる際に、通信品質毎の時間幅または単位時間数を時変設定するものである。

【0026】また、請求項5に係る通信装置は、請求項 40 1、2、3または4に記載の通信装置において、前記境 界割当制御手段は、前記信号または前記パケットの前記 異なる時間または前記単位時間への割当を、前記信号ま たは前記パケットの通信品質に基づく優先度に従って行 うものである。

【0027】また、請求項6に係る通信装置は、請求項1、2、3、4または5に記載の通信装置において、前記通信品質を、データ伝送における遅延の許容度またはゆらぎを表す遅延品質としたものである。

【0028】また、請求項7に係る通信装置は、請求項 50 記K個のバッファ群に振り分け、該バッファ群内の各バ

6に記載の通信装置において、前記遅延品質を、前記遅延許容度が第1許容度以下のリアルタイム、前記遅延許容度が第2許容度以上の非リアルタイム、または前記第1許容度から前記第2許容度までの範囲の擬似リアルタイムとしたものである。

10

【0029】また、請求項8に係る通信装置は、請求項6に記載の通信装置において、前記遅延品質を、前記遅延ゆらぎが第1ゆらぎしきい値以下のリアルタイム、前記遅延許容度が第2ゆらぎしきい値以上の非リアルタイム、または前記第1ゆらぎしきい値から前記第2ゆらぎしきい値までの範囲の擬似リアルタイムとしたものである。

【0030】また、請求項9に係る通信装置は、請求項7または8に記載の通信装置において、前記境界割当制御手段は、前記信号または前記パケットの前記異なる時間または前記単位時間への割当を、前記リアルタイム、前記擬似リアルタイム、前記非リアルタイムの順に行うものである。

【0031】また、請求項10に係る通信装置は、請求 20 項1、2、3、4、5、6、7、8または9に記載の通 信装置において、他局との呼の接続を制御する呼接続制 御手段を具備し、前記境界割当制御手段は、前記信号ま たは前記パケットの前記異なる時間または前記単位時間 への割当を一定時間間隔で行う際に、前記呼接続制御手 段によって張られた呼の接続数に基づき、一定時間間隔 の最初に最上位優先度の通信品質用に所定時間幅または 所定単位時間数を設定するものである。

【0032】また、本発明の請求項11に係る通信方法は、通信品質の異なる信号を通信品質毎に振り分ける判別ステップと、前記通信品質毎に振り分けられた信号を異なる時間に割り当てる境界割当制御ステップと、前記境界割当制御ステップにより割り当てられた時間毎に信号をコード多重化するコード多重化処理ステップとを具備するものである。

【0033】また、本発明の請求項12に係る通信方法は、通信品質毎にグループ分けされた複数のバッファ群を備えた通信装置の通信方法であって、通信品質の異なるパケットを該パケットに付加されている付加情報に基づき前記複数のバッファ群に振り分ける判別ステップ

と、前記複数のバッファ群に貯蓄されたパケットをバッファ群毎に異なる時間に割り当てて取り出す境界割当制御ステップと、異なる時間毎に前記境界割当制御ステップにより取り出されたパケットをコード多重化するコード多重化処理ステップとを具備するものである。

【0034】また、本発明の請求項13に係る通信方法は、通信品質毎に第1から第K(Kは2以上の整数)までのK個にグループ分けされたK個のバッファ群を備えた通信装置の通信方法であって、通信品質の異なるパケットを該パケットに付加されている付加情報に基づき前

ッファの空き状態に応じて格納する判別ステップと、所 定単位時間毎に前記K個のバッファ群を循環して貯蓄パ ケットの有無を確認し、貯蓄パケットを持つバッファ群 について各バッファを循環して貯蓄パケットを順次取り 出す境界割当制御ステップと、前記単位時間毎に前記境 界割当制御ステップにより取り出されたパケットをコー ド多重化するコード多重化処理ステップとを具備するも のである。

【0035】また、請求項14に係る通信方法は、請求項11、12または13に記載の通信方法において、前記境界割当制御ステップは、前記信号または前記パケットを前記異なる時間または前記単位時間に割り当てる際に、通信品質毎の時間幅または単位時間数を時変設定するものである。

【0036】また、請求項15に係る通信方法は、請求項11、12、13または14に記載の通信方法において、前記境界割当制御ステップは、前記信号または前記パケットの前記異なる時間または前記単位時間への割当を、前記信号または前記パケットの通信品質に基づく優先度に従って行うものである。

【0037】また、請求項16に係る通信方法は、請求項11、12、13、14または15に記載の通信方法において、前記通信品質を、データ伝送における遅延の許容度またはゆらぎを表す遅延品質としたものである。

【0038】また、請求項17に係る通信方法は、請求項16に記載の通信方法において、前記遅延品質を、前記遅延許容度が第1許容度以下のリアルタイム、前記遅延許容度が第2許容度以上の非リアルタイム、または前記第1許容度から前記第2許容度までの範囲の擬似リアルタイムとしたものである。

【0039】また、請求項18に係る通信方法は、請求項16に記載の通信方法において、前記遅延品質を、前記遅延ゆらぎが第1ゆらぎしきい値以下のリアルタイム、前記遅延許容度が第2ゆらぎしきい値以上の非リアルタイム、または前記第1ゆらぎしきい値から前記第2ゆらぎしきい値までの範囲の擬似リアルタイムとしたものである。

【0040】また、請求項19に係る通信方法は、請求項17または18に記載の通信方法において、前記境界割当制御ステップは、前記信号または前記パケットの前 40 記異なる時間または前記単位時間への割当を、前記リアルタイム、前記擬似リアルタイム、前記非リアルタイムの順に行うものである。

【0041】また、請求項20に係る通信方法は、請求項11、12、13、14、15、16、17、18または19に記載の通信方法において、他局との呼の接続を制御する呼接続制御ステップを具備し、前記境界割当制御ステップは、前記信号または前記パケットの前記異なる時間または前記単位時間への割当を一定時間間隔で行う際に、前記呼接続制御ステップによって張られた呼

の接続数に基づき、一定時間間隔の最初に最上位優先度 の通信品質用に所定時間幅または所定単位時間数を設定 するものである。

【0042】また、本発明の請求項21に係る通信プログラムは、請求項11、12、13、14、15、16、17、18、19または20に記載の通信方法をコンピュータに実行させるための通信プログラムである。【0043】また、本発明の請求項22に係るコンピュータにより読み取り可能な記録媒体は、請求項11、12、13、14、15、16、17、18 、19または20に記載の通信方法をコンピュータに実行させるためのプログラムとして記録したものである。

【0044】また、本発明の請求項23に係る移動局は、請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9または10に記載の通信装置、請求項21に記載の通信プログラム、或いは、請求項22に記載の記録媒体を備えたものである。

【0045】また、本発明の請求項24に係る基地局は、請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9または10に記載の通信装置、請求項21に記載の通信プログラム、或いは、請求項22に記載の記録媒体を備えたものである。

【0046】さらに、本発明の請求項25に係る通信システムは、請求項1、2、3、4、5、6、7、8、9または10に記載の通信装置、請求項21に記載の通信プログラム、或いは、請求項22に記載の記録媒体を備えたものである。

【0047】本発明の請求項1に係る通信装置、請求項 11に係る通信方法、請求項21に係る通信プログラ ム、請求項22に係る記録媒体、請求項23に係る移動 局、請求項24に係る基地局および請求項25に係る通 信システムでは、判別手段(判別ステップ)により通信 品質の異なる信号を通信品質毎に振り分け、該通信品質 毎に振り分けられた信号を境界割当制御手段(境界割当 制御ステップ) により異なる時間に割り当て、境界割当 制御手段(境界割当制御ステップ)により割り当てられ た時間毎にコード多重化処理手段(コード多重化処理ス テップ) により信号をコード多重化するようにしてい る。このように、通信品質毎に振り分けられた信号を異 なる時間に割り当てるので、同一時間上にほぼ同じ通信 品質の信号を割り当てることができ、従来のCDMAに おいて生じていた通信品質の異なる信号を同時に多重化 することによる品質低下等の不具合を解消することがで

【0048】また、請求項2に係る通信装置、請求項1 2に係る通信方法、請求項21に係る通信プログラム、 請求項22に係る記録媒体、請求項23に係る移動局、 請求項24に係る基地局および請求項25に係る通信シ ステムでは、判別手段(判別ステップ)により、通信品 質の異なるパケットを該パケットに付加されている付加

き、また通信品質の保証を容易に行うことができる。

20

情報に基づき通信品質毎にグループ分けされた複数のバ ッファ群に振り分け、複数のバッファ群に貯蓄されたパ ケットを境界割当制御手段(境界割当制御ステップ)に よりバッファ群毎に異なる時間に割り当てて取り出し、 異なる時間毎に境界割当制御手段(境界割当制御ステッ プ) により取り出されたパケットをコード多重化処理手 段(コード多重化処理ステップ)によりコード多重化す るようにしている。このように、通信品質毎にグループ 分けされた複数のパッファ群に通信品質の異なるパケッ トを振り分け、複数のバッファ群に貯蓄されたパケット をパッファ群毎に異なる時間に割り当てて取り出し、該 異なる時間毎にコード多重化を行うので、同一時間上に ほぼ同じ通信品質のパケットを割り当てることができ、 従来のCDMAにおいて生じていた通信品質の異なる信 号を同時に多重化することによる品質低下等の不具合を 解消することができ、また通信品質の保証を容易に行う ことができる。

【0049】また、請求項3に係る通信装置、請求項1 3に係る通信方法、請求項21に係る通信プログラム、 請求項22に係る記録媒体、請求項23に係る移動局、 請求項24に係る基地局および請求項25に係る通信シ ステムでは、判別手段(判別ステップ)により、通信品 質の異なるパケットを該パケットに付加されている付加 情報に基づき、通信品質毎に第1から第K(Kは2以上 の整数)までのK個にグループ分けされたK個のバッフ ァ群に振り分けて、該バッファ群内の各バッファの空き 状態に応じて格納し、境界割当制御手段(境界割当制御 ステップ)により、所定単位時間毎にK個のバッファ群 を循環して貯蓄パケットの有無を確認し、貯蓄パケット を持つバッファ群について各バッファを循環して貯蓄パ ケットを順次取り出し、単位時間毎に境界割当制御手段 (境界割当制御ステップ) により取り出されたパケット をコード多重化処理手段(コード多重化処理ステップ) によりコード多重化するようにしている。

【0050】このように、通信品質毎にグループ分けされたK個のバッファ群に通信品質の異なるパケットを振り分け、所定単位時間毎にK個のバッファ群を循環して貯蓄パケットの有無を確認し、貯蓄パケットを持つバッファ群について各バッファを循環して貯蓄パケットを順次取り出し、単位時間毎にコード多重化を行うので、同40一時間上にほぼ同じ通信品質のパケットを割り当てることができ、従来のCDMAにおいて生じていた通信品質の異なる信号を同時に多重化することによる品質低下等の不具合を解消することができ、また通信品質の保証を容易に行うことができる。

【0051】また、請求項4に係る通信装置、請求項14に係る通信方法、請求項21に係る通信プログラム、請求項22に係る記録媒体、請求項23に係る移動局、請求項24に係る基地局および請求項25に係る通信システムでは、境界割当制御手段(境界割当制御ステッ

プ)において、信号またはパケットを異なる時間または 単位時間に割り当てる際に、通信品質毎の時間幅または 単位時間数を時変設定するのが望ましい。これにより、 通信品質の制約や信号またはパケットの受信状況(パッ ファ内の貯蓄量)に応じて、特定の通信品質の信号また はパケットを優先的に割り当てることが可能となり、通 信品質の保証を容易に行うことができる。

【0052】また、請求項5に係る通信装置、請求項15に係る通信方法、請求項21に係る通信プログラム、請求項22に係る記録媒体、請求項23に係る移動局、請求項24に係る基地局および請求項25に係る通信システムでは、境界割当制御手段(境界割当制御ステップ)において、信号またはパケットの異なる時間または単位時間への割当を、信号またはパケットの通信品質に基づく優先度に従って行うのが望ましい。特に、通信品質(遅延品質)の制約が厳しい、例えば遅延時間の制約が大きい信号またはパケットを優先的に割り当てることにより、通信品質(遅延品質)の保証を容易且つ確実に行うことができる。

【0053】また、請求項6,7,8に係る通信装置、 請求項16,17,18に係る通信方法、請求項21に 係る通信プログラム、請求項22に係る記録媒体、請求 項23に係る移動局、請求項24に係る基地局および請 求項25に係る通信システムでは、通信品質を、データ 伝送における遅延の許容度またはゆらぎを表す遅延品質 としている。また特に、請求項7に係る通信装置および 請求項17に係る通信方法では、遅延品質を、遅延許容 度が第1許容度以下のリアルタイム、遅延許容度が第2 許容度以上の非リアルタイム、または第1許容度から第 2許容度までの範囲の擬似リアルタイムとし、また特 に、請求項8に係る通信装置および請求項18に係る通 信方法では、遅延品質を、遅延ゆらぎが第1ゆらぎしき い値以下のリアルタイム、遅延許容度が第2ゆらぎしき い値以上の非リアルタイム、または第1ゆらぎしきい値 から第2ゆらぎじきい値までの範囲の擬似リアルタイム としている。

【0054】信号またはパケットには様々な種類が存在し、それぞれ遅延品質等の通信品質が異なるが、中でもリアルタイム性が要求される音声データ等は、特に遅延時間の制約が大きく、また最終的に等間隔で復号されなくてはならないので、遅延ゆらぎ(遅延ジッタ)の制約も厳しい。通信品質を遅延の許容度またはゆらぎを表す遅延品質として、制約の厳しいものについて優先的に割当を行うことにより、遅延ゆらぎ(遅延ジッタ)を吸収するためのハードウェア量(バッファ容量等)を極力抑えることができると共に、通信品質(遅延品質)の保証を容易且つ確実に行うことができる。

【0055】また、請求項9に係る通信装置、請求項1 9に係る通信方法、請求項21に係る通信プログラム、 請求項22に係る記録媒体、請求項23に係る移動局、

請求項24に係る基地局および請求項25に係る通信システムでは、境界割当制御手段(境界割当制御ステップ)において、信号またはパケットの異なる時間または単位時間への割当を、リアルタイム、擬似リアルタイム、非リアルタイムの順に行うのが望ましい。これにより、通信品質(特に遅延品質)の制約の厳しい音声データ等について、優先的に割当を行うことができ、通信品質(遅延品質)の保証を容易且つ確実に行うことができる。

【0056】さらに、請求項10に係る通信装置、請求 項20に係る通信方法、請求項21に係る通信プログラ ム、請求項22に係る記録媒体、請求項23に係る移動 局、請求項24に係る基地局および請求項25に係る通 信システムでは、呼接続制御手段(呼接続制御ステッ プ) により他局との呼の接続を制御するようにし、境界 割当制御手段(境界割当制御ステップ)において、信号 またはパケットの異なる時間または単位時間への割当を 一定時間間隔で行う際に、呼接続制御手段(呼接続制御 ステップ)によって張られた呼の接続数に基づき、一定 時間間隔の最初に最上位優先度の通信品質用に所定時間 20 幅または所定単位時間数を設定するのが望ましい。例え ば、通信品質(遅延品質)の制約が厳しい信号またはパ ケットを最上位優先度とすれば、該信号またはパケット をほぼ一定時間間隔で出力することができ、遅延ゆらぎ (遅延ジッタ) をほば無くすことができる。

#### [0057]

【発明の実施の形態】以下、本発明の通信装置、通信方法、通信プログラム、記録媒体、移動局、基地局および通信システムの実施の形態について、図面を参照して詳細に説明する。なお、それぞれの実施形態の説明では、本発明に係る通信装置および通信方法について詳述するが、本発明に係る通信プログラムについては通信方法を実行させるためのプログラムであり、また本発明に係る記録媒体については、通信方法を実行させるためのプログラムを記録した記録媒体であることから、その説明は以下の通信方法の説明に含まれるものである。

【0058】図1は本発明の一実施形態に係る通信装置の構成図である。同図において、図13(従来例)と重複する部分には同一の符号を附する。

【0059】本実施形態の通信装置は、図2に示すような通信システムの構成において、基地局BS1に適用されるものである。すなわち、図2において、通信システムは、少なくとも基地局BS1、BS2、移動局MS1~MS3および移動局MS3の子局MS31~MS33を備えた構成である。このような通信システムにおいて、基地局BS1は、移動局MS1~MS3と他の基地局BS2等との無線中継を行うものである。

【0060】ここで、本実施形態の通信装置(基地局BS1)が含まれる通信システムが提供するサービスとして、音声による通話、インターネットアクセス、電子メ

ールの送受信等があり、遅延品質(通信品質)としてリアルタイムRTの通信には音声等の遅延許容値が小さいデータの通信が該当し、擬似リアルタイムQRTの通信にはインターネット応答等のように比較的高速な応答性が要求されるデータの通信が該当し、非リアルタイムNRTの通信には電子メール等のように遅延許容値が相対的に大きいデータの通信が該当する。

【0061】また、図2には、基地局BS1の概略構成をも示しており、基地局BS1は、アンテナ201,206、受信部202、処理部203、制御部204および送信部205を備えて構成されている。本発明の特徴である上り信号または下り信号の信号割当を行う部分は、処理部203および制御部(CPU)204において実現される。

【0062】再び図1に戻って、本実施形態の通信装置(基地局BS1)は、上り信号または下り信号の信号割当を行う構成部分として、パケット判別部101、リアルタイムRT用バッファ群102(BFRT1~BFRTn)、擬似リアルタイムQRT用バッファ群103(BFQRT1~BFQRTm),非リアルタイムNRT用バッファ群104(BFNRT1~BFNRTp)、境界割当制御部105、RTポインタ106、QRTポインタ107、NRTポインタ108、第1送信バッファ109、第2送信バッファ110、CDMA多重処理部111およびスイッチSW1~SW5を備えて構成されている。

【0063】ここで、本実施形態のバッファは、遅延品質(通信品質)毎に3つのバッファ群、即ちリアルタイムRT用バッファ群102、擬似リアルタイムQRT用バッファ群103および非リアルタイムNRT用バッファ群104に分けて構成されている。なお、バッファ群の参照符号におけるn,m,pを、以下ではn=6,m=4,p=4とし、リアルタイムRT用バッファ群102はBFRT1~BFRT6を備え、擬似リアルタイムQRT用バッファ群103はBFQRT1~BFQRT4を備え、非リアルタイムNRT用バッファ群104はBFNRT1~BFNRT4を備えた構成として説明する。

【0064】また、パケット判別部101は、受信入力irのパケットに付加されている付加情報(ヘッダ)に基づき遅延品質(リアルタイムRT, 擬似リアルタイムQRT, 非リアルタイムNRT)を判別し、該判別結果に応じてそれぞれリアルタイムRT用バッファ群102、擬似リアルタイムQRT用バッファ群103、非リアルタイムNRT用バッファ群104に振り分け、各バッファ群内の各バッファ(BFRT1~BFRT6, BFQRT1~BFQRT4, BFNRT1~BFNRT4)の空き状態やパケットの種別に応じて格納する。具体的には、制御信号CNT1によりスイッチSW1を切り換えて所定バッファへの経路を確立する。

【0065】ここで、スイッチSW1~SW5は、例えば、各信号経路に禁止ゲート(2入力ANDゲート)を挿入して、該禁止ゲートの他方の入力端子に制御信号を供給する構成とし、該制御信号をイネーブル("H"レベル)とすることによりその信号経路を有効にする構成法や、各信号経路にトランスファゲートトランジスタを挿入して、制御信号により該トランジスタをオン状態とすることによりその信号経路を有効にする構成法などがある。

【0066】次に、境界割当制御部105は制御部(C PU) 204内に構成されるもので、リアルタイムRT 用バッファ群102 (BFRT1~BFRT6) からの 状態情報NOR1~NOR6、擬似リアルタイムQRT 用パッファ群103 (BFQRT1~BFQRT4) か らの状態情報NOQ1~NOQ4、非リアルタイムNR T用パッファ群104 (BFNRT1~BFNRT4) からの状態情報NON1~NON4に基づき各バッファ の貯蓄パケットの有無を確認しつつ、RTポインタ10 6へのイネーブル信号ENR、QRTポインタ107へ のイネーブル信号ENQまたはNRTポインタ108へ 20 のイネーブル信号 ENNの内の1つを有効にすると共 に、制御信号CNT5によりスイッチSW5を切り換え て第1送信バッファ109への経路を確立する。なお、 スイッチSW2、SW3、SW4は、それぞれRTポイ ンタ106からの制御信号CNT2、QRTポインタ1 07からの制御信号CNT3、NRTポインタ108か らの制御信号CNT4によって切り換えられる構成であ る。

【0067】このスイッチSW2、SW3、SW4およびスイッチSW5の切り換えによってバッファを割り当て、貯蓄パケットを順次取り出していくことが、上り信号または下り信号の信号割当を行うことに相当する。図3は、本実施形態の信号割当方法、即ちバッファの割当方法の概略を説明する説明図である。

【0068】図3に示すように、本実施形態のバッファの割当方法の概略は、先ず、リアルタイムRT用バッファ群102、擬似リアルタイムQRT用バッファ群103、非リアルタイムNRT用バッファ群104間で優先度に従った上位のラウンドロビンを行ってバッファ群を割り当て、次に、割り当てられたバッファ群(リアルタイムRT用バッファ群BFRT1~BFRT6、擬似リアルタイムQRT用バッファ群BFQRT1~BFQRT1~BFQRT1~BFNRT1~BFNRT1~BFNRT1~BFNRT1~BFNRT1~BFNRT1~BFNRT4)の中で下位のラウンドロビンを行ってバッファを割り当てるという、階層的なラウンドロビン手法を用いている。

【0069】なお、リアルタイムRT用バッファ群102、擬似リアルタイムQRT用バッファ群103、非リアルタイムNRT用バッファ群104間で上位のラウンドロビンを行うのが制御信号CNT5によるスイッチS

W5の切換である。また、リアルタイムRT用バッファ群BFRT1~BFRT6間の下位のラウンドロビンは制御信号CNT2に基づくスイッチSW2の切換により、擬似リアルタイムQRT用バッファ群BFQRT1~BFQRT4間の下位のラウンドロビンは制御信号CNT3に基づくスイッチSW3の切換により、非リアルタイムNRT用バッファ群BFNRT1~BFNRT4)間の下位のラウンドロビンは制御信号CNT4にに基づくスイッチSW4の切換によりそれぞれ行われる。

10 【0070】また、第1送信バッファ109および第2送信バッファ110は、CDMAにおける多重コード数を2としているために2個用意された送信バッファであり、それぞれの出力は、CDMA多重処理部111内の第1コード112および第2コード113となって拡散され、加算器114により多重化され、送信出力otを得る。なお、これらの構成が特許請求の範囲にいうコード多重化処理手段に該当する。

【0071】次に、図4、図5および図6を参照して、本実施形態の通信装置における通信方法である上り信号または下り信号の信号割当方法、即ち、バッファの割当方法の詳細について説明する。図4、図5および図6は、ぞれぞれリアルタイムRT用バッファ群BFRT1~BFRT6間、擬似リアルタイムQRT用バッファ群BFQRT1~BFQRT4間および非リアルタイムNRT用バッファ群BFNRT1~BFNRT4間の下位のラウンドロビンを主として説明するフローチャートである。なお、以下の説明においては、送信出力otは、多重化コード数=2で1フレーム8スロットとして説明する。

【0072】なお、リアルタイムRT用パッファ群10 2、擬似リアルタイムQRT用パッファ群103、非リ アルタイムNRT用バッファ群104間の上位のラウン ドロビンは、図4のステップS403においてTSカウ ンタ=Srt+1であるときに行なう図5のPqrt(ステップS501)への分岐、図5のステップS51 1においてQRT用バッファ群103に貯蓄パケットが 無いときに行なう図6のPnrt (ステップS601) への分岐、並びに、図6のステップS611においてN RT用バッファ群104に貯蓄パケットが無いときに行 なう図4のPrt(ステップS403)への分岐により 実現されている。なお、図6のステップS611a, S 611b, S611cでは、NRT用パッファ群104 に貯蓄パケットが無い時に、1フレーム分のタイムスロ ットが終了するまで(TSカウンタ=8になるまで)、 Prt (ステップS403)への分岐を待つようになっ ている。これは、各フレームの最初のSrtのタイムス ロットを必ずRTパケットになるようにするために行う ものであり、これにより、RTパケットを一定時間間隔 で送出することができる。

ⅳ 【0073】先ず、図4において、ステップS401,

S402は各種パラメータの初期設定である。ここで、TSカウンタは1つのフレーム内のタイムスロットを示すもので、0(初期値)から8の間の整数値を採る。また、ELカウンタはコード多重化の際の第1コード112または第2コード113の何れであるかを示すもので、0(初期値)から2の間の整数値を採る。また、n,m,pは、それぞれリアルタイムRT用パッファ群BFRT1~BFRT6、擬似リアルタイムQRT用パッファ群BFQRT1~BFQRT4および非リアルタイムNRT用パッファ群BFNRT1~BFNRT4のパッファ番号(参照符合の最後1桁の数値)を示すものである。

【0074】次に、ステップS 403では、TSカウンタ=Srt+1であるか否かをチェックする。ここで、Srtは現フレームにおいてRTパケット用に割り当てられるタイムスロットの数であり、他局との呼の接続を制御する呼接続制御部によって現在張られている呼の接続数に基づき決定されるものであり、呼接続数を多重コード数で割った数値を越える最少の整数値である。ここでは多重コード数=2であるので、例えば呼接続数が3または4のときはSrt=2となり、呼接続数が5または6のときはSrt=3である。なお、呼接続制御部は図2の制御部(CPU)204内に具備されるものである。

【0075】このように、ステップS403によりタイムスロット位置を示すTSカウンタがRTパケット用に割り当てられるタイムスロット数以下であることを確認することにより、フレームの最初のSrt個のタイムスロットが優先的にRTパケット用に割り当てられることになる。

【0076】ステップS403において、TSカウンタ = Srt+1でない(タイムスロットがRTパケット用である)ときにはステップS404に進んで、リアルタイムRT用パッファ群 $BFRT1\sim BFRT6$ 間の下位のラウンドロピンに入り、TSカウンタ=Srt+1である(タイムスロットがRTパケット用でなくなった)ときには図SOPqrt(ステップ<math>SSO1) へ分岐する。

【0077】次に、ステップS404では、第nRT用パッファBFRTn(n=1~6)に貯蓄パケットが有 40 るか否かをチェックする。貯蓄パケットが有るときにはステップS405に進んで、該貯蓄パケットを出力し、ELカウンタをインクリメントする。なお、ステップS405がスイッチSW2との接続に切り換えられ、ステップS405に進んだ時点で、スイッチSW2がRTポインタ106からの制御信号CNT2によって第nRT用パッファBFRTnとの接続に切り換えられ、これにより貯蓄パケットが第1送信パッファ109に出力されることになる。したがって、RTポインタ106はこのフローチャートにおける 50

パラメータnに該当するものである。

【0078】次に、ステップS406ではELカウンタ = 2か否かをチェックする。ELカウンタ= 2である時には、ステップS407に進み、タイムスロットを次のタイムスロットにするべくTSカウンタをインクリメントし、ELカウンタを初期値(0)に戻す。またELカウンタ= 2でない時、ステップS407の処理終了後、或いは、ステップS404において第nRT用パッファBFRTn(n=1~6)に貯蓄パケットが無い時には、ステップS408に進み、パラメータnをインクリメントしてステップS403に戻る。

【0079】次に、図5において、ステップS501~ S505は、擬似リアルタイムQRT用パッファBFQ RT1~BFQRT4間の下位のラウンドロビンに入る 前の前処理である。本実施形態の信号割当方法では、タ イムスロット毎にRTパケット用、QRTパケット用ま たはNRTパケット用の何れかに設定されるため、貯蓄 パケットの状況によっては、1タイムスロットにパケッ トの1要素しか割り当てられなかったケースが生じる。 【0080】この場合(ステップS501においてEL カウンタ=1の時)には、ステップS502でタイムス ロットを次のタイムスロットにするべくTSカウンタを インクリメントし、ステップS503でインクリメント 後のTSカウンタが「8」でないことを確認した後に、 ステップS505でELカウンタを初期値(0)に戻し てから、擬似リアルタイムQRT用パッファBFQRT 1~BFQRT4間の下位のラウンドロビン(ステップ S512) に入る必要がある。なお、ステップS503 においてTSカウンタ=8である時は、現フレームの割 当が終了したことを意味しているので、ステップS50 4でTSカウンタを初期値(0)に戻してから、図4の Prt (ステップS403)に分岐し、階層的ラウンド ロビンを繰り返すことになる。

【0081】次に、ステップS511では、QRT用バッファ群103に貯蓄パケットが有るか否かをチェックする。貯蓄パケットが有るときにはステップS512に進んで、擬似リアルタイムQRT用バッファ群BFQRT1~BFQRT4間の下位のラウンドロビンに入り、貯蓄パケットが無いときには図6のPnrt(ステップS601)へ分岐する。

【0082】次に、ステップS 512では、第mQRT 用パッファBFQRTm ( $m=1\sim4$ ) に貯蓄パケットが有るか否かをチェックする。貯蓄パケットが有るときにはステップS 513に進んで貯蓄パケットの大きさ(該QRTパケットが持つ要素数)をパラメータRQにセットした後、ステップS 514で、該貯蓄パケットの要素をFIFO (First-In First Out) で出力し、ELカウンタをインクリメントし、RQをデクリメントする。

0 【0083】なお、ステップS512に進んだ時点でス

イッチSW5がスイッチSW3との接続に切り換えられ、ステップS513に進んだ時点で、スイッチSW3がQRTポインタ107からの制御信号CNT3によって第mQRT用バッファBFQRTmとの接続に切り換えられ、これにより貯蓄パケットの要素が第1送信バッファ109に出力されることになる。したがって、QRTポインタ107はこのフローチャートにおけるパラメータmに該当するものである。

21

【0084】次に、ステップS516ではELカウンタ =2か否かをチェックする。ELカウンタ=2である時 には、ステップS521に進み、タイムスロットを次の タイムスロットにするべくTSカウンタをインクリメン トし、ELカウンタを初期値(0)に戻す。そしてステ ップS522で、インクリメント後のTSカウンタが 「8」でないことを確認した時、並びに、ステップS5 16においてELカウンタ=2でない時には、ステップ S517に進む。なお、ステップS522においてTS カウンタ=8である時は、現フレームの割当が終了した ことを意味しているので、ステップS523でTSカウ ンタを初期値(0)に戻してから、図4のPrt(ステ ップS403)に分岐し、階層的ラウンドロビンを繰り 返すことになる。また、ステップS522で、インクリ メント後のTSカウンタが「8」でない時に、ステップ S522aにおいて、TSカウンタがSrt+Sqrt を越えているか否かの判断をして、TSカウンタがSr t+Sqrtを越えた場合には、図6のPnrt(ステ ップS601) へ分岐するようにしている。これによ り、QRTパケットをNRTパケットよりも優先させな がらも、QRTパケットの送出に割り当てるタイムスロ ットをSartに制限して、優先の度合いを制限するこ とができる。

【0085】次に、ステップS517では、パラメータ RQ=0か否かをチェックする。RQ=0である時は、 第mQRT用バッファBFQRTmで割り当てるべきQ RTパケットの全ての要素について出力されたことになるので、ステップS518に進んでパラメータmをイン クリメントし、ステップS519でm=5でないことを 確認してステップS511に戻り、擬似リアルタイムQ RT用バッファ群BFQRT1~BFQRT4間の下位 のラウンドロビンを進めていく。なお、ステップS519でm=5の時には、ステップS520でm=1に値を 戻す必要がある。

きQRTパケットに未だ出力されていない要素が残ったまま、図4のPrt(ステップS403)に分岐して次のフレームに移ることがあるが、該次のフレームについての擬似リアルタイムQRT用パッファBFQRT1~BFQRT4間の下位のラウンドロビンに移ってきた時に、どのQRT用パッファの貯蓄パケットのどの要素から始めるかの情報は、パラメータm、RQにより保持されていることになる。

【0087】次に、図6において、ステップS601~ S605は、非リアルタイムNRT用パッファBFNR T1~BFNRT4間の下位のラウンドロピンに入る前 の前処理である。図5の処理において、1タイムスロッ トにパケットの1要素しか割り当てられなかった場合 (ステップS601においてELカウンタ=1の時) に は、ステップS602でタイムスロットを次のタイムス ロットにするべくTSカウンタをインクリメントし、ス テップS603でインクリメント後のTSカウンタが 「8」でないことを確認した後に、ステップS605で ELカウンタを初期値(0)に戻してから、非リアルタ イムNRT用パッファBFNRT1~BFNRT4間の 下位のラウンドロビン(ステップS612)に入る。な お、ステップS603においてTSカウンタ=8である 時は、現フレームの割当が終了したことを意味している ので、ステップS604でTSカウンタを初期値(0) に戻してから、図4のPrt (ステップS403)に分 岐し、階層的ラウンドロビンを繰り返すことになる。

【0088】次に、ステップS611では、NRT用バッファ群104に貯蓄パケットが有るか否かをチェックする。貯蓄パケットが有るときにはステップS612に進んで、非リアルタイムNRT用バッファ群BFNRT1~BFNRT4間の下位のラウンドロビンに入り、図4のPrt(ステップS403)に分岐する。

【0089】次に、ステップS612では、第pNRT 用バッファBFNRTp(p=1~4)に貯蓄パケット が有るか否かをチェックする。貯蓄パケットが有るとき にはステップS613に進んで貯蓄パケットの大きさ (該NRTパケットが持つ要素数)をパラメータRNに セットした後、ステップS614で、該貯蓄パケットの 要素をFIFO(First-In First Out)で出力し、EL 40 カウンタをインクリメントし、RNをデクリメントす る。

【0090】なお、ステップS612に進んだ時点でスイッチSW5がスイッチSW4との接続に切り換えられ、ステップS613に進んだ時点で、スイッチSW4がNRTポインタ108からの制御信号CNT4によって第pNRT用バッファBFNRTpとの接続に切り換えられ、これにより貯蓄パケットの要素が第1送信バッファ109に出力されることになる。したがって、NRTポインタ108はこのフローチャートにおけるパラメータロに該当するものである

【0091】次に、ステップS616ではELカウンタ =2か否かをチェックする。ELカウンタ=2である時 には、ステップS621に進み、タイムスロットを次の タイムスロットにするべくTSカウンタをインクリメン トし、ELカウンタを初期値(0)に戻す。そしてステ ップS622で、インクリメント後のTSカウンタが 「8」でないことを確認した時、並びに、ステップS6 16においてELカウンタ=2でない時には、ステップ S617に進む。なお、ステップS622においてTS カウンタ=8である時は、現フレームの割当が終了した ことを意味しているので、ステップS623でTSカウ ンタを初期値(0)に戻してから、図4のPrt(ステ ップS403)に分岐し、階層的ラウンドロビンを繰り 返すことになる。

【0092】次に、ステップS617では、パラメータ RN=0か否かをチェックする。RN=0である時は、 第pNRT用パッファBFNRTpで割り当てるべきN RTパケットの全ての要素について出力されたことにな るので、ステップS618に進んでパラメータpをイン クリメントし、ステップS619でp=5でないことを 確認してステップS611に戻り、非リアルタイムNR T用パッファ群BFNRT1~BFQRT4間の下位の ラウンドロビンを進めていく。なお、ステップS619 でp=5の時には、ステップS620でp=1に値を戻 す必要がある。

【0093】また、ステップS617において、パラメ -夕RN=0でない時は、第pNRT用パッファBFN. RTpで割り当てるべきNRTパケットに未だ出力され ていない要素が残っているので、ステップS614に戻 って、残っている要素を出力する。なお、第pNRT用 バッファBFNRTpで割り当てるべきNRTパケット に未だ出力されていない要素が残ったまま、図4のPr t (ステップS403) に分岐して次のフレームに移る ことがあるが、該次のフレームについての非リアルタイ ムNRT用バッファBFNRT1~BFNRT4間の下 位のラウンドロビンに移ってきた時に、どのNRT用バ ッファの貯蓄パケットのどの要素から始めるかの情報 は、パラメータ p、RNにより保持されていることにな る。

【0094】次に、図7乃至図11を参照して、本実施 形態の通信装置における通信方法をさらに説明する。こ こでは、具体的な受信入力(パケット入力群)に対して どのような送信出力が得られるかについて、各パッファ BFRT1~BFRT6, BFQRT1~BFQRT 4, BFNRT1~BFNRT4のパケットの貯蓄状態 の推移を踏まえながら説明する。なお、時間軸は、図7 (b) に示すように、出力フレームの各タイムスロッ ト、即ち、出力前期間のタイムスロットT01~T0 8、第1フレーム出力期間のタイムスロットT11~T

T28、第3フレーム出力期間のタイムスロットT21 ~T28および第4フレーム出力期間のタイムスロット T41~T48を用いて説明を行う。

【0095】図7(a)は、各タイムスロットにおける 受信入力irのパケット群を示しており、従来例の説明 で用いたものと同一である。図7(c)は、第1フレー ムから第4フレームまでの各タイムスロットにおける第 1送信パッファ109および第2パッファ110の内 容、即ち多重化される第1コード113および第2コー ドの内容を示している。なお、図7 (c) において、S rt1~Srt4, Sqrt1, Sqrt2, Snrt 1~Snrt4は、それぞれ第1フレームから第4フレ ームにおいてRTパケット用、QRTパケット用、NR Tパケット用に割り当てられたタイムスロットの数(時 間間隔)である。

【0096】図8では、第1フレーム出力期間(タイム スロットT11~T18) における各パッファの貯蓄パ ケットの推移を示しており、RT用パッファBFRT1 ~ BFRT4についてのみ出力前期間のタイムスロット T08が付加されている。本実施形態の階層的ラウンド ロビン手法において、上位のラウンドロビンによるバッ ファ群の参照はRT用パッファ群102から始まり、R T用バッファ群102内の下位のラウンドロビンによる バッファの参照は第1RT用バッファBFRT1から始 まる。タイムスロットT08では、第1尺T用バッファ BFRT1からRTパケットAR11が、第2RT用パ ッファBFRT2からRTパケットAR21が順次出力 されて、タイムスロットT11にこれらが多重化されて 送信出力されることになる。

【0097】以下同様にパッファ出力のみに注目する と、タイムスロットT11では、第3RT用バッファB FRT3からRTパケットAR31が、第4RT用パッ ファBFRT4からRTパケットAR41が順次出力さ れる。またタイムスロットT12では、上位のラウンド ロビンによりQRT用パッファ群103に移り、QRT 用バッファ群103内の下位のラウンドロビンにより第 2QRT用バッファBFQRT2に辿り着き、該バッフ ァからQRTパケットAQ11, AQ12が順次出力さ れる。次に、タイムスロットT13では、第3QRT用 バッファBFQRT3からQRTパケットAQ21が出 力されるが、この時点でQRT用パッファ群103内の 貯蓄バッファが無くなるので、上位のラウンドロビンに よりNRT用パッファ群104に移る。

【0098】次に、NRT用バッファ群104内の下位 のラウンドロビンが開始され、タイムスロットT14で は、第1NRT用パッファBFNRT1からNRTパケ ットAN21、AN22が順次出力される。次に、タイ ムスロットT15では、第2NRT用パッファBFNR T2からNRTパケットAN11が、第3NRT用パッ 18、第2フレーム出力期間のタイムスロットT21~ 50 ファBFNRT3からNRTパケットAN31が順次出

カされる。また、タイムスロットT16では、第3NRT用バッファBFNRT3からNRTパケットAN32, AN33が順次出力される。さらに、タイムスロットT17では、第3NRT用バッファBFNRT3からNRTパケットAN34が出力された後、NRT用バッファ群104内の下位のラウンドロピンにより第1NRTパッファBFNRT1に辿り着き、該バッファからNRTパケットAN41が出力される。

【0099】またさらに、タイムスロットT18では、 上位のラウンドロビンによりRT用バッファ群102に 10 戻り、第1RT用バッファBFRT1からRTパケット BR11が、第2RT用バッファBFRT2からRTパケットBR21が順次出力される。

【0100】図9においても同様に(簡単のために名称を省略して)、T21ではBFRT1,BFRT2からBR31,BR41が、T22ではBFQRT1からBQ11,BQ12が、T23ではBFQRT2,BFQRT4からBQ21,BQ41が、T24ではBFQRT4からBQ42,BQ43が、T25ではBFQRT4,BFQRT1からBQ44,BQ31が、T26ではBFNRT1,BFNRT2からAN42,BN21が、T27ではBFNRT3からCN11,CN12が、T28ではBFRT1,BFRT2からCR11,CR21が、順次出力される。

【0101】また、図10においても同様に、T31ではBFRT3、BFRT4からCR31、CR41が、T32ではBFNRT3からCN13、CR14が、T33ではBFNRT4からCN21、CN22が、T34ではBFNRT4からCN23、CN24が、T35ではBFNRT1からBN11、BN12が、T36ではBFNRT2、BFNRT3からDN11、DN31が、T37ではBFNRT3からDN32、DN33が、T37ではBFNRT3からDN21、DR41が、順次出力される。

【0102】さらに、図11においても同様に、T41ではBFRT3、BFRT4からDR51、DR61が、T42ではBFRT5、BFRT6からDR11、DR31が、T43ではBFNRT3からDN34、DN35が、T44ではBFNRT3、BFNRT4からDN36、DN71が、T45ではBFNRT4からDN72、DN73が、T46ではBFNRT4からDN74、DN75が、T47ではBFNRT4、BFNRT1からDN76、DN21が、T48ではBFRT1、BFRT2からER21、ER41が、順次出力される。

【0103】 〔変形例〕本実施形態の通信装置の通信方法(パッファの割当方法)においては、RT用パッファ群102内の下位のラウンドロビンは、図4に示したように、呼接続制御部からの呼接続数に基づき決定されるRTパケット用に割り当てられるタイムスロット数Sr

t分行われるようにしたが、QRT用バッファ群103 内の下位のラウンドロビンと同様に、RT用バッファ群102内の貯蓄パケットが無くなるまで循環させることも可能である。

【0104】図12は、本変形例におけるリアルタイム RT用バッファ群BFRT $1\sim$ BFRT6間の下位のラウンドロビンを主として説明するフローチャートである。先ず、ステップS1201では、図4におけるステップS401, S402と同様に各種パラメータの初期 設定を行う。

【0105】次に、ステップS1202では、RT用バッファ群102に貯蓄パケットが有るか否かをチェックする。貯蓄パケットが有るときにはステップS1203に進んで、リアルタイムRT用バッファ群BFRT1~BFRT6間の下位のラウンドロビンに入り、貯蓄パケットが無いときには図5のPqrt(ステップS501)へ分岐する。

【0106】ステップS1203では、第nRT用パッフrBFRTn(n=1~6)に貯蓄パケットが有るかるかをチェックする。貯蓄パケットが有るときにはステップS1204に進んで、該貯蓄パケットを出力し、ELカウンタをインクリメントする。

【0107】次に、ステップS1205ではELカウンタ=2か否かをチェックする。ELカウンタ=2である時には、ステップS1206に進み、タイムスロットを次のタイムスロットにするべくTSカウンタをインクリメントし、ELカウンタを初期値(0)に戻す。そして、ステップS1207でインクリメント後のTSカウンタが「8」でないことを確認した時、ステップS1205においてELカウンタ=2でない時、並びに、ステップS1203で第nRT用パッファBFRTnに貯蓄パケットが無い時には、ステップS1209に進む。なお、ステップS522においてTSカウンタ=8である時は、現フレームの割当が終了したことを意味しているので、ステップS1208でTSカウンタを初期値

(0) に戻してから、ステップS1209に進む。

【0108】次に、ステップS 1209ではパラメータ nをインクリメントし、ステップS 1210でn=7で ないことを確認してステップS 1202に戻り、リアルタイムR T用バッファ群BFRT1~BFRT6間の下位のラウンドロピンを進めていく。なお、ステップS 1210でn=7の時には、ステップS 1211でn=1に値を戻す必要がある。

【0109】また、上記実施形態では、図2の通信システムにおいて、基地局BS1に実施形態の通信装置を適用する形態を説明したが、これに限定されることなく、例えば、移動局MS3に実施形態の通信装置の構成を適用して、子局MS31~MS33と基地局BS1間の上り信号および下り信号の信号割当に実施形態の通信方法を適用することも可能である。

【0110】以上説明したように本実施形態の通信装置 (基地局BS1) および通信方法では、パケット判別部 101 (判別ステップ) により、通信品質の異なるパケ ットを該パケットに付加されている付加情報に基づき、 通信品質毎にリアルタイムRT用、擬似リアルタイムQ RT用および非リアルタイムNRT用の3個のパッファ 群に振り分けて、該バッファ群内の各バッファの空き状 態に応じて格納し、境界割当制御部105(境界割当制 御ステップ)により、タイムスロット毎に3個のバッフ ァ群を循環して貯蓄パケットの有無を確認し、貯蓄パケ ットを持つパッファ群について各パッファを循環して貯 蓄パケットを順次取り出し、タイムスロット毎に境界割 当制御部105 (境界割当制御ステップ) により取り出 されたパケットのコードをCDMA多重処理部111 (コード多重化処理ステップ) により多重化して送信出 力otを得る。これにより、同一時間上にほぼ同じ通信 品質のパケットを割り当てることができ、従来のCDM Aにおいて生じていた通信品質の異なる信号を同時に多 重化することによる品質低下等の不具合を解消すること ができ、また通信品質の保証を容易且つ確実に行うこと ができる。

【0111】また、境界割当制御部105(境界割当制御ステップ)において、パケットのタイムスロットへの割当を、リアルタイムRT、擬似リアルタイムQRT、非リアルタイムNRTの順に行うと共に、通信品質毎のタイムスロット数を時変設定するので、遅延品質の制約の厳しい音声データ等について、優先的に割当を行うことができ、遅延品質の保証を容易且つ確実に行うことができる。

【0112】さらに、呼接続制御部(呼接続制御ステップ)により他局との呼の接続を制御するようにし、境界割当制御部105(境界割当制御ステップ)において、呼接続制御手段(呼接続制御ステップ)によって張られた呼の接続数に基づき、リアルタイムRT用のタイムスロット数を設定し、フレーム中の特定時間(先頭)に割り当てたので、遅延ジッタを少なくすることができる。これは、従来例(図15)において後半のフレームほど遅延ジッタが大きく発生していたのに対し、本実施形態(図7)では遅延ジッタが無い。したがって、遅延ジッタを吸収するためのハードウェア量(バッファ容量)も極力抑えることができ、最大遅延も小さいので音声の遅延も少ない。

【0113】なお、リアルタイムRTパケットの割当を優先することで、そのしわ寄せが擬似リアルタイムQRTや非リアルタイムNRTのパケットの割当に及んでしまうが、擬似リアルタイムQRTもリアルタイムRT用に占有される時間(タイムスロット)以外では優先的に割り当てられているので、小さな遅延で済むことになる。その結果、非リアルタイムNRTに最もしわ寄せが寄っていることになるが、電子メール等のように、元々

遅延品質に対してそれ程厳しい要求はなく、また受信側でため込む形のものであるので、遅延ジッタが増大しても受信パッファの増加はなく、遅延時間も気にならないので、実質的な問題は全く無い。

#### [0114]

【発明の効果】以上説明したように、本発明の通信装置、通信方法、通信プログラム、記録媒体、移動局、基地局および通信システムによれば、判別手段(判別ステップ)により通信品質の異なる信号を通信品質毎に振り分け、該通信品質毎に振り分けられた信号を境界割当制御手段(境界割当制御ステップ)により異なる時間に割り当て、境界割当制御手段(境界割当制御ステップ)により割り当てられた時間毎にコード多重化処理手段(コード多重化処理ステップ)により信号コードを多重化することとしたので、同一時間上にほぼ同じ通信品質の信号を割り当てることができ、通信品質の保証を容易に行うことができる。

【0115】また、本発明によれば、判別手段(判別ステップ)により、通信品質の異なるパケットを該パケットに付加されている付加情報に基づき通信品質毎にグループ分けされた複数のバッファ群に振り分け、複数のバッファ群に貯蓄されたパケットを境界割当制御手段(境界割当制御ステップ)によりバッファ群毎に異なる時間に割り当てて取り出し、異なる時間毎に境界割当制御手段(境界割当制御ステップ)により取り出されたパケットのコードをコード多重化処理手段(コード多重化処理ステップ)により多重化することとしたので、同一時間上にほぼ同じ通信品質のパケットを割り当てることができる。

【0116】また、本発明によれば、判別手段(判別ス テップ) により、通信品質の異なるパケットを該パケッ トに付加されている付加情報に基づき、通信品質毎に第 1から第K(Kは2以上の整数)までのK個にグループ 分けされたK個のバッファ群に振り分けて、該バッファ 群内の各バッファの空き状態に応じて格納し、境界割当 制御手段(境界割当制御ステップ)により、所定単位時 間毎にK個のバッファ群を循環して貯蓄パケットの有無 を確認し、貯蓄パケットを持つバッファ群について各バ ッファを循環して貯蓄パケットを順次取り出し、単位時 間毎に境界割当制御手段(境界割当制御ステップ)によ り取り出されたパケットのコードをコード多重化処理手 段(コード多重化処理ステップ)により多重化すること としたので、同一時間上にほぼ同じ通信品質のパケット を割り当てることができ、通信品質の保証を容易に行う ことができる。

【0117】また、本発明によれば、境界割当制御手段 (境界割当制御ステップ)において、信号またはパケットを異なる時間または単位時間に割り当てる際に、通信 品質毎の時間幅または単位時間数を時変設定することと したので、通信品質の制約や信号またはパケットの受信

状況(バッファ内の貯蓄量)に応じて、特定の通信品質 の信号またはパケットを優先的に割り当てることが可能 となり、通信品質の保証を容易に行うことができる。

【0118】さらに、本発明によれば、境界割当制御手段(境界割当制御ステップ)において、信号またはパケットの異なる時間または単位時間への割当を、信号またはパケットの通信品質に基づく優先度に従って行うこととしたので、特に、通信品質(遅延品質)の制約が厳しい、例えば遅延時間の制約が大きい信号またはパケットを優先的に割り当てることにより、通信品質(遅延品質)の保証を容易且つ確実に行うことができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態の通信装置(基地局)において信号割当を行う部分の構成図である。

【図2】本実施形態の通信装置(基地局)が適用される 通信システムの構成図である。

【図3】実施形態の信号割当方法 (バッファの割当方法) の概略を説明する説明図である。

【図4】リアルタイムRT用バッファ群間の下位のラウンドロビンを主として説明するフローチャートである。 【図5】擬似リアルタイムQRT用バッファ群間の下位のラウンドロビンを主として説明するフローチャートである。

【図6】非リアルタイムNRT用バッファ群間の下位の ラウンドロビンを主として説明するフローチャートであ る。

【図7】実施形態において具体的な受信入力(パケット入力群)に対してどのような送信出力が得られるかを示したタイムチャートである。

【図8】実施形態において第1フレーム出力期間(タイムスロットT11~T18)における各バッファのパケットの貯蓄状態を説明する説明図である。

【図9】実施形態において第2フレーム出力期間(タイムスロットT21~T28)における各バッファのパケットの貯蓄状態を説明する説明図である。

【図10】実施形態において第3フレーム出力期間(タイムスロットT21~T28)における各バッファのパケットの貯蓄状態を説明する説明図である。

【図11】実施形態において第4フレーム出力期間(タイムスロットT41~T48)における各パッファのパ 40ケットの貯蓄状態を説明する説明図である。

【図12】変形例におけるリアルタイムRT用バッファ 群間の下位のラウンドロビンを主として説明するフロー チャートである。

【図13】従来の通信装置(基地局)において信号割当を行う部分の構成図である。

【図14】従来の通信方法(下り信号の信号割当方法) の概略を説明する説明図である。 【図15】従来例において具体的な受信入力 (パケット入力群) に対してどのような送信出力が得られるかを示したタイムチャートである。

【図16】従来例において第1フレーム出力期間(タイムスロットT11~T18)における各パッファのパケットの貯蓄状態を説明する説明図である。

【図17】従来例において第2フレーム出力期間(タイムスロットT21~T28)における各パッファのパケットの貯蓄状態を説明する説明図である。

10 【図18】従来例において第3フレーム出力期間(タイムスロットT21~T28)における各バッファのパケットの貯蓄状態を説明する説明図である。

【図19】従来例において第4フレーム出力期間(タイムスロットT41~T48)における各バッファのパケットの貯蓄状態を説明する説明図である。

#### 【符号の説明】

101 パケット判別部(判別手段)

102 (BFRT1~BFRTn) リアルタイムR T用パッファ群

20 103 (BFQRT1~BFQRTm) 擬似リアルタイムQRT用バッファ群

104 (BFNRT1~BFNRTp) 非リア ルタイムNRT用バッファ群

105 境界割当制御部(境界割当制御手段)

905 割当制御部

106 RTポインタ

107 QRTポインタ

108 NRTポインタ

109 第1送信バッファ

0 110 第2送信バッファ

111 CDMA多重処理部

112 第1コード

113 第2コード

114 加算器

SW1~SW7 スイッチ

ir 受信入力

ot 送信入力

CNT1~CNT7 制御信号

NOR, NOQ, NON 状態情報

40 ENR, ENQ, ENN イネープル信号

BS1, BS2 基地局

MS1~MS3 移動局

MS31~MS33移動局MS3の子局

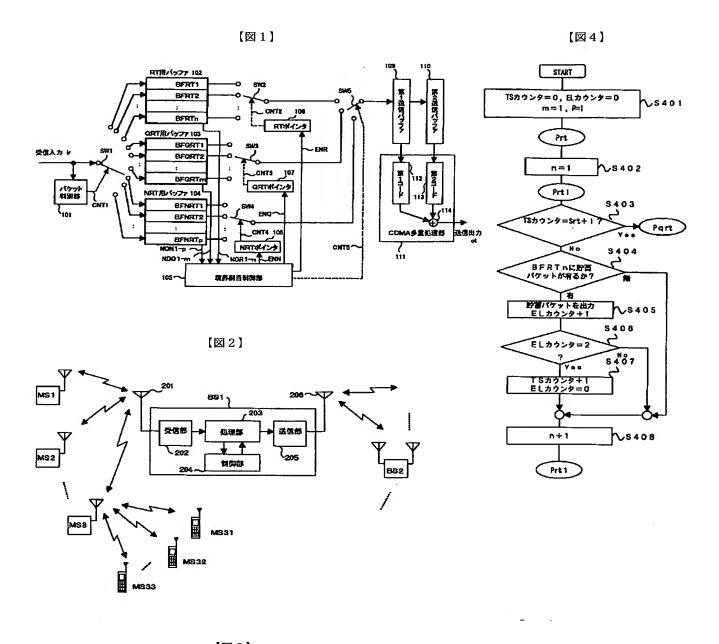
201, 206 アンテナ

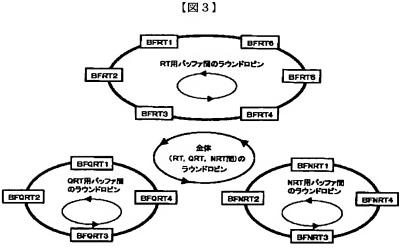
202 受信部

203 処理部

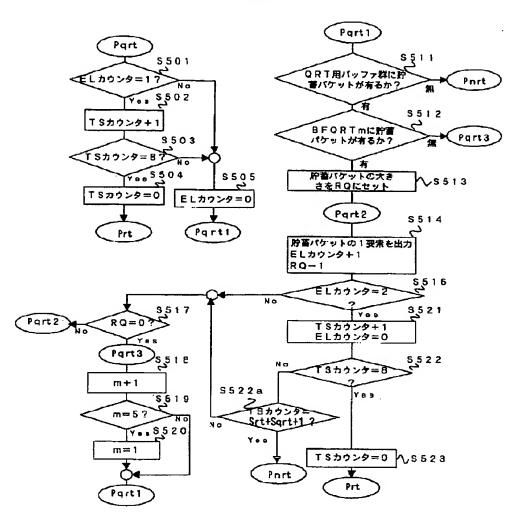
204 制御部

205 送信部

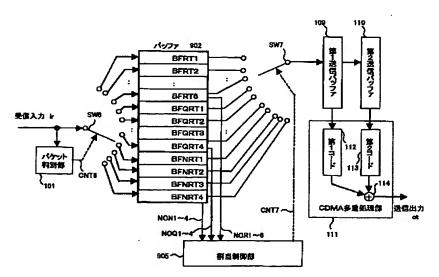




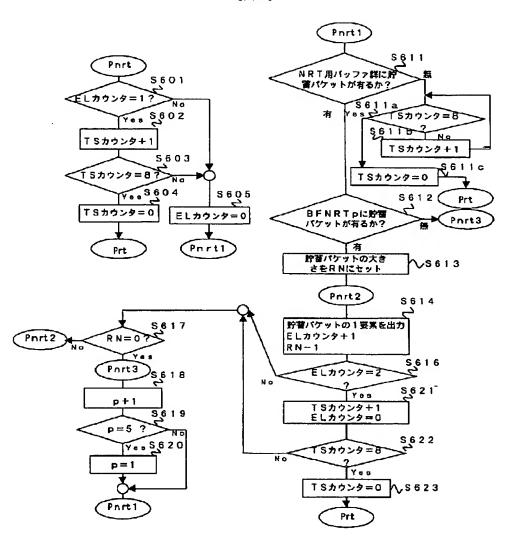
【図5】



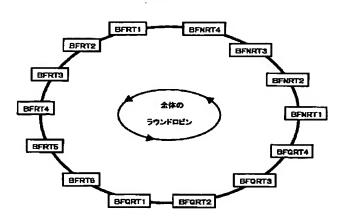
【図13】



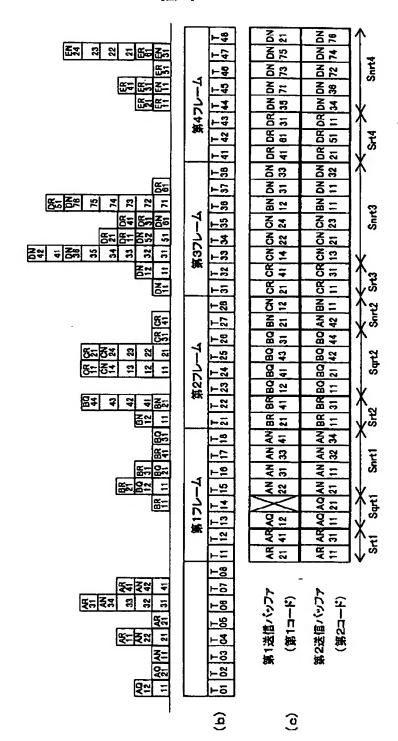
【図6】



【図14】

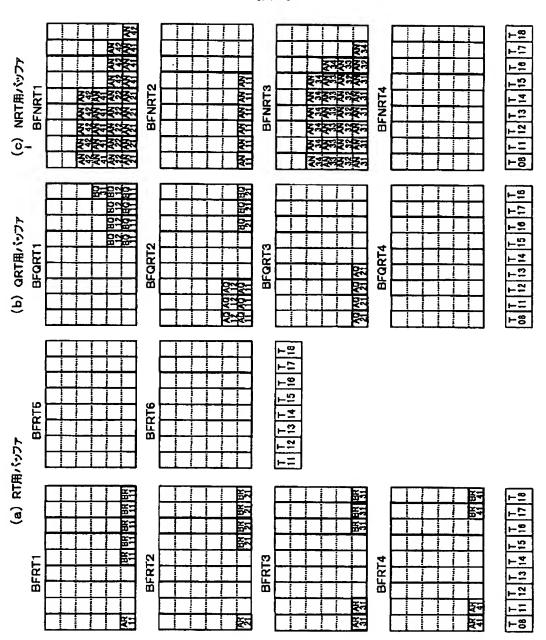


【図7】

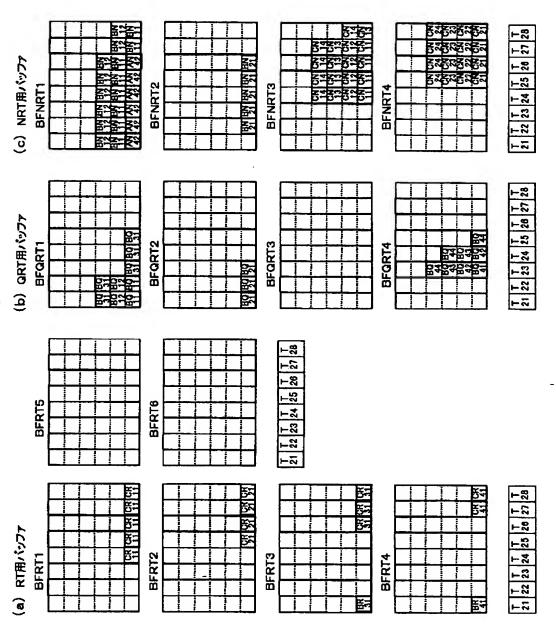


**B** 

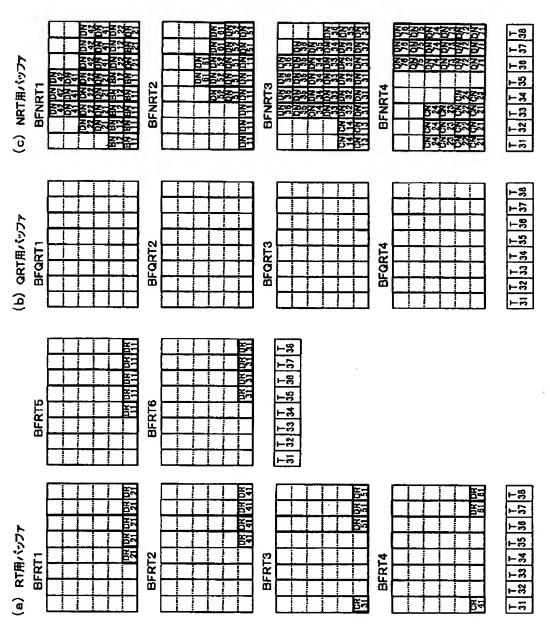
【図8】



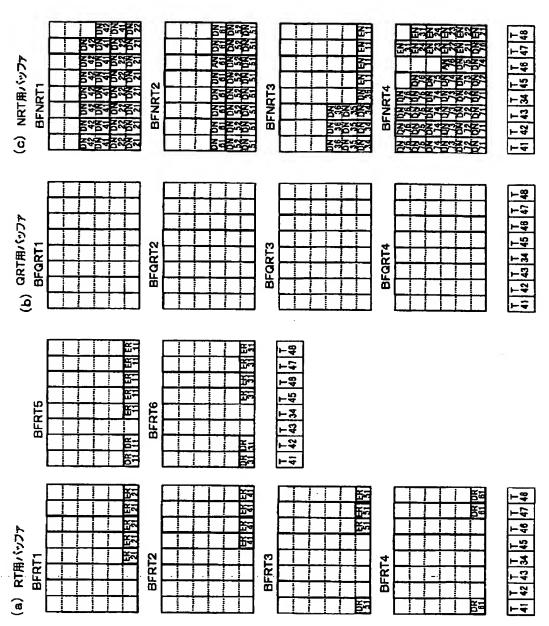
[図9]



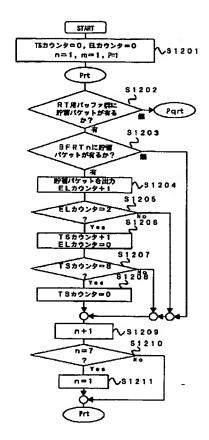
【図10】



【図11】



【図12】

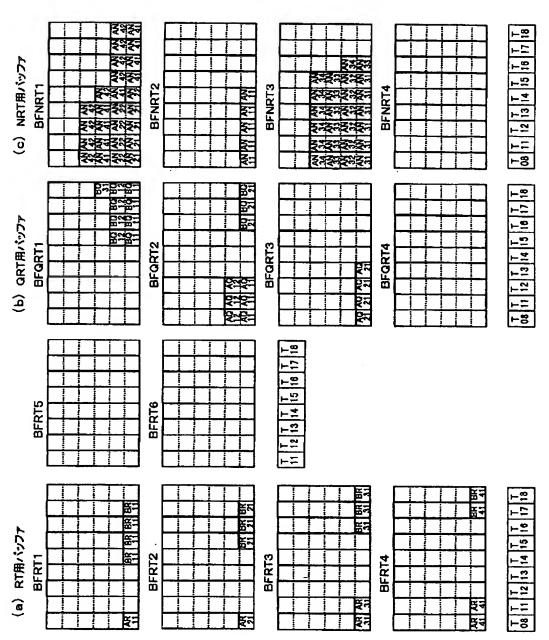


【図15】

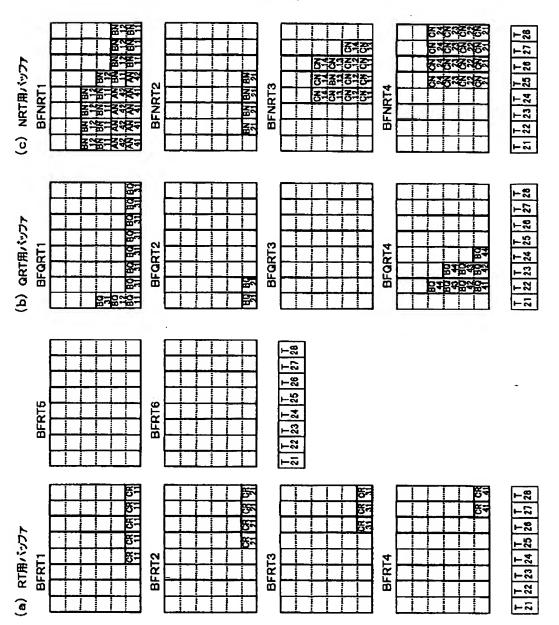
| l l  |        |  |     |   |  |
|--|--------|--|-----|---|--|
|  |        | ⊢8   | ı   | NO 22   | 2 Z  |
| 表表 3 2 2 5 55<br>55<br>55  |        | <b>-</b> ₽   |     | 91 E  | AR AR AQ AQ AN AN AN BR BR BQ BQ BQ BQ AN CN BN CN CR CR BQ BN DN DN DN DN DN DN DR DR DR DN DN 11 31 11 21 22 31 33 31 11 21 22 31 33 35 71 73 76 21 51 11 21 |
|  |        | <b>⊢</b> 各   |     | DN CN DN DN DR DR<br>38 72 74 76 41 61  | 51<br>51   |
| ######################################   | 第4フレーム | 42 43 44 45  |     | DR<br>41  | AR ARACIACIAN AN AN BRIBR BO BO BO AN CN BN CN CRCR BO BN DN DN DN DN DN DN DR DR  |
| ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##   | 5      | <b>⊢</b> \$  |     | DN<br>26  | 75<br>75   |
|  | 4,     | <b>⊢</b> \$  |     | Z Z   | 2 5  |
|  |        | T<br>42  |     | 0N<br>22  | \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \   |
|  |        | <b>⊢</b> ₹   |     | DN<br>38  | Z X  |
|  | 第3フレーム | ⊢წ   |     | N X   | S S  |
| 20   |        | 7.6  |     | DN<br>32  | DN<br>S ±  |
| [  |        | 12 13 14 15 18 17 18 21 22 23 24 25 26 27 28 31 32 33 34 35 38 37 38 |     | CN CN CN CN CR OR BN DN DN DN 12 14 22 24 21 41 11 11 32 34                       | BN<br>12   |
| ON 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2   |        | 35−  | - 1 | 8N<br>11  | 80<br>31   |
| 91 51 92 93 94 1 20 94 1 20 95 95 95 95 95 95 95 95 95 95 95 95 95   |        | ⊢\$  |     | OR<br>41  | CR<br>3.   |
|  |        | ⊢೫   |     | OR<br>21  | S =  |
|  | 200    | <b>⊢</b> ≈   |     | CN<br>24  | CN<br>23   |
| N-   |        | ⊢≅   |     | CN<br>22  | S ≤  |
|  |        | <del>-</del> 89  |     | S<br>T<br>CN  | ₩ 5  |
| 82 82 1 2 1 2 2 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8  |        | 72   |     | CN<br>12  | S =  |
| 55   |        | <b>⊢</b> %   |     | BN<br>21  | AN<br>42   |
| 2 2 2 28   | 第27レーム | -22  |     | AR ARAO ANAN'AN AN BR BR BO BO AN BN<br>21 41 12 21 11 32 34 21 41 12 41 43 41 21 | 6 4<br>0 4   |
| 유크 <u>오</u>  | 15     | <b>⊢</b> ≳   |     | 8 3   | 80<br>42   |
|  | 122    | <b>⊢</b> 8   |     | BQ =  | 2 BQ   |
| W2 = 2 4 W2  | -      | <b>⊢</b> ≈   |     | BQ<br>12  | BQ<br>11   |
| <b>語2 =</b>  | _      | ⊢≅   |     | 8R<br>**  | BR<br>31   |
| 86   |        | 누쁘   |     | BR<br>12  | # ==   |
| 15<br>15<br>16<br>17<br>17<br>18<br>19<br>19<br>19   |        | -2-  |     | A &   | A &  |
| 28 <del>28</del> 28  | 1 .    | <b>⊢</b> ₽   |     | 8 ₹   | A E  |
| 21 12 B 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12   | 第1フレーム | <b>⊢</b> ≌   |     | ₹=  | \$ ₹   |
| 8 <del>-</del>   | 5      | <u>⊢</u> .   |     | .× ×  | AQ 21  |
|  |        | 느=   |     | ۸۵<br>2   | ₽ <b>∀</b> =   |
|  | 1      | T 12   |     | AA ₽  | A R  |
|  |        | -=   |     | AR<br>21  | ¥ =  |
|  |        | 5 06 07 08   |     |   |  |
| 중속 <u>동</u> 수  |        | -6-  |     | _ 4   | h _  |
| इस इस स स  | l      | ⊢8   |     | 15.77<br>1.61   | (ユー)   |
| \$2  |        | ⊢8   |     | <u>, 100 pa</u>   | , i  |
| 2 23=3   |        | ⊢8   |     | 第1说信/<br>(第1立   | 第2法值,<br>(第2コ  |
| [₹=  |        | -8   |     | <b>継</b>  | ¥5   |
| 25 V   |        | T T T T T T T T T T T T T T T T T T T                                |     |   |  |
| AA<br>12<br>12<br>12<br>12<br>12<br>13<br>14<br>14<br>14<br>14<br>14<br>14<br>14<br>14<br>14<br>14<br>14<br>14<br>14 |        | -5   |     |   |  |
|  |        | ( <del>P</del> )   |     | _   |  |
|  |        | (P   |     | છ   |  |

Ø

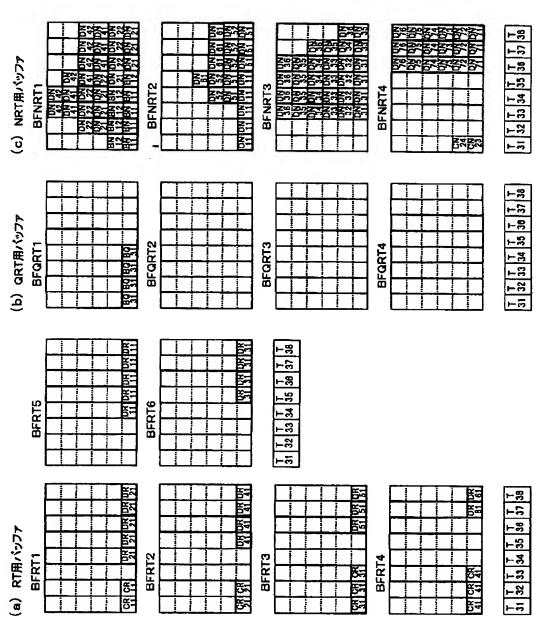
【図16】



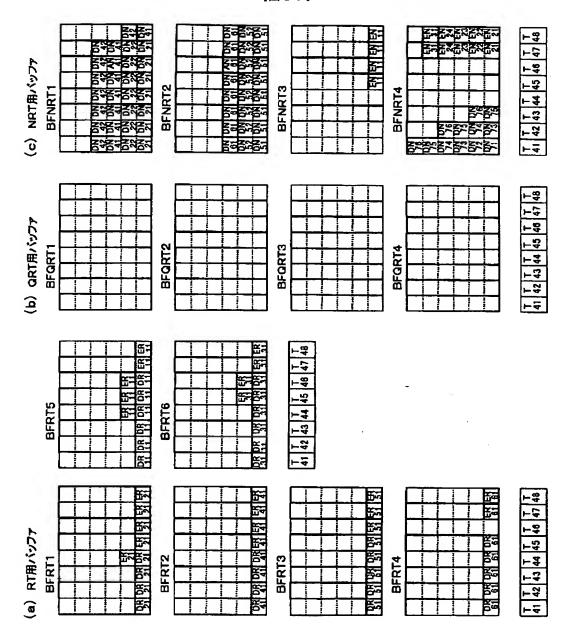
【図17】



[図18]



【図19】



#### フロントページの続き

(72)発明者 宮 和行

神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1

号 松下通信工業株式会社内

(72)発明者 加藤 修

神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1

号 松下通信工業株式会社内

Fターム(参考) 5K022 EE01 EE22

5K028 AA01 AA14 BB04 CC05 KK32

LL02 MM08 SS24

5K030 GA02 HA08 HB17 HC01 JA01

JL01 KA03 KA11 KA13 KX18

LC01 LC08 LE06 MA04 MA13

5K067 AA23 CC04 CC08 CC10 EE02

EE10 EE16 EE71 GG03 KK13

KK15

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

# BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

| Defects in the images include but are not limited to the items checked: |  |
|---|--|
| M BLACK BORDERS   |  |
| ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES                                 |  |
| FADED TEXT OR DRAWING   |  |
| ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING                                  |  |
| ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES   |  |
| ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS                                  |  |
| ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS  |  |
| LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT                                     |  |
| REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY                   |  |
| OTHER:  |  |

# IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.